



Cisco 無線 IP 電話のセットアップ

この章では、IP テレフォニー ネットワークに Cisco 無線 IP 電話 7920 を設置および設定する方法について説明します。内容は次のとおりです。

- [Cisco 無線 IP 電話 7920 の設置準備 \(P.3-2\)](#)
- [Cisco CallManager での IP 電話の設定 \(P.3-7\)](#)
- [Cisco 無線 IP 電話 7920 の設置 \(P.3-16\)](#)

始める前に

Cisco 無線 IP 電話 7920 を設置する前に、無線ネットワークで電話機を設定する方法を決定する必要があります。その後で電話機を設置し、機能を確認します。詳細については、[第 2 章「無線ネットワークの概要」](#)を参照してください。

次の項で、ネットワーク要件と設定作業について説明します。

- [Cisco 無線 IP 電話 7920 の設置準備 \(P.3-2\)](#)
- [Cisco CallManager での IP 電話の設定 \(P.3-7\)](#)

Cisco 無線 IP 電話 7920 の設置準備

Cisco 無線 IP 電話を設置および構成するには、ネットワーク設定値の設定、Cisco CallManager のセットアップ、および電話機に対するローカルな変更が必要です。設置の準備をするには、次の要件と作業リストを確認してください。

ネットワーク要件

Cisco 無線 IP 電話 7920 を Cisco IP Phone のエンドポイントとして正常に動作させるには、ネットワークは次の要件を満たしている必要があります。

- 動作している Voice-over-IP (VoIP) ネットワーク
 - VoIP が、Cisco ルータおよびゲートウェイで設定されている
 - ネットワークに Cisco CallManager Release 3.3(3) SR1 以降または Cisco CallManager Express 3.0 以降がインストールされ、コールを処理するように設定されている



(注) Cisco 無線 IP 電話 7920 は Cisco CallManager 3.2 で使用できますが、このとき、電話機を Cisco IP Phone 7960 デバイスタイプに設定する必要があります。P.3-13 の「Cisco 7920 電話タイプのサポート」を参照してください。

- DHCP または IP アドレス、ゲートウェイ、サブネット マスクの手動割り当てをサポートする IP ネットワーク
- 動作している無線ネットワーク
 - Voice over WLAN が、Cisco Aironet アクセス ポイントで設定されている
 - 無線音声デバイスおよびユーザを認証するセキュリティが実装されている

電話機の設定作業

Cisco 無線 IP 電話 7920 を設定するための準備作業および設置手順の概要については、表 3-1 を参照してください。これらの手順の詳細については、表に記載されているマニュアルを参照してください。

表 3-1 Cisco 無線 IP 電話の設定作業リスト

必須作業	目的	その他の情報
<p>1. Cisco CallManager Administration で使用する次の情報を収集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Device Information フィールドの情報（該当する場合）。デバイスプールやコーリングサーチスペースなど。 • 電話機に関連付ける Cisco CallManager ユーザ。 • 電話機に割り当てる回線数と電話番号。 • 電話機に設定する機能。 	<p>Cisco CallManager Administration の Phone Configuration ページの使用時に、この情報を使用します。</p> <p>このページにある Device Information フィールドには、適切な情報が入手できる場合には自動的に情報が設定されます。デバイスごとにシステム設定を上書きする場合は、フィールドを編集します。</p>	<p>P.3-8 の「Cisco CallManager データベースへの電話機の追加」を参照してください。</p> <p>P.7-2 の「Cisco CallManager での Cisco 無線 IP 電話の設定」を参照してください。</p> <p>『Cisco CallManager システムガイド』を参照してください。</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。</p>
<p>2. 音声通信を処理するためのルータ、ゲートウェイ、およびスイッチを構成します。</p>	<p>IP テレフォニー ネットワークのインフラストラクチャを確立します。</p>	<p>P.2-7 の「VoIP 無線ネットワークのコンポーネント」およびこれらのデバイスに付属のマニュアルを参照してください。</p>
<p>3. サイト調査を実行して、無線音声のカバレッジに対応したアクセス ポイント (AP) を配置およびインストールする場所を決定します。</p>	<p>RF 信号のカバレッジが必要な区域を確認します。使用状況の高い区域（会議室など）、RF 干渉のある区域（研究室、機材室など）、および他の必要な無線電話のカバレッジ区域（吹き抜け、エレベータ、屋根つき通路など）を確認します。</p>	<p>『Cisco Wireless IP Phone 7920 Design and Deployment Guide』を参照してください。</p>

表 3-1 Cisco 無線 IP 電話の設定作業リスト (続き)

必須作業	目的	その他の情報
4. 無線電話のオプションのカバレッジを提供するための Cisco Aironet アクセス ポイントを設置および構成します。	無線音声ネットワークのカバレッジ、チャンネル、信号強度、および認証を設定します。	『Cisco Wireless IP Phone 7920 Design and Deployment Guide』を参照してください。
5. 次のいずれかの方法で、Cisco CallManager データベースに電話機を追加します。 <ul style="list-style-type: none"> 自動登録を使用 Cisco CallManager Administration のみを使用 Bulk Administration Tool (BAT) のみを使用 BAT と Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用 	Cisco CallManager に電話機を追加する方法によって、どのように電話番号が割り当てられるか、また、最初に MAC アドレスを取得する必要があるかどうかが決まります。	P.3-8 の「Cisco CallManager データベースへの電話機の追加」を参照してください。 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 『Bulk Administration Tool User Guide for Cisco CallManager』を参照してください。
6. IP Phone から MAC アドレスを取得します。	Cisco CallManager Administration または BAT を使用して Cisco CallManager データベースに電話機を追加する場合に限り必要です。	P.3-11 の「Cisco IP Phone の MAC アドレスの決定」を参照してください。
7. Cisco 無線 IP 電話で、または Cisco 7920 設定ユーティリティを使用して、ネットワーク設定値と無線設定値を設定します。	IP 設定値などのシステム パラメータを設定し (ネットワークで DHCP を使用していない場合)、TFTP サーバを割り当てます。 電話機の SSID、認証タイプ、暗号化方式、および伝送レートと送信電力を設定します。	P.4-5 の「Cisco 7920 設定ユーティリティの概要」を参照してください。 P.5-4 の「ネットワークプロファイル設定値の設定」を参照してください。 P.5-11 の「プロファイルの無線設定値の設定」を参照してください。

表 3-1 Cisco 無線 IP 電話の設定作業リスト (続き)

必須作業	目的	その他の情報
8. Cisco 7920 設定ユーティリティを使用して、電話設定値を設定します。	呼び出しトーン、電話機のロック パスワード、短縮ダイヤル、および電話帳エントリなどの電話設定値を設定します。	P.4-18 の「 Phone Profile ウィンドウ 」を参照してください。
9. ソフトキー テンプレートを変更して、電話機をカスタマイズします。	デフォルトの Cisco 無線 IP 電話のソフトキーを必要としないユーザに、Cisco CallManager のソフトキーの代替セットを提供します。	P.7-10 の「 ソフトキー テンプレートの設定 」を参照してください。 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。
10. 電話機を追加し、コールウェイティング、コール転送、コールパーク、コールピックアップなどの電話機能を設定します。	Cisco CallManager データベースに電話機を追加し、高度な電話機能を提供します。	P.7-2 の「 Cisco CallManager での Cisco 無線 IP 電話の設定 」を参照してください。 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。
11. Cisco CallManager にユーザを追加します。	ユーザを電話機に関連付け、User Options Web ベース アプリケーションにアクセスできるようにします。このアプリケーションで、ユーザはコール転送や短縮ダイヤルなどの機能を設定し、サービスに加入します。	P.7-16 の「 Cisco CallManager へのユーザの追加 」を参照してください。 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。
12. Cisco 無線 IP 電話の電源を入れ、ネットワークに接続されるかどうかをテストします。	電話機がアクセス ポイントと Cisco CallManager と通信することを確認します。	P.2-25 の「 電話起動プロセスについて 」を参照してください。
13. 電話機の使用法と電話オプションの設定方法に関する情報をエンドユーザに提供します。	ユーザが正しく Cisco IP Phone を使用できるだけの十分な情報を提供されていることを確認します。	付録 A 「 Web サイトによるユーザへの情報提供 」を参照してください。

関連項目

- [Cisco 無線 IP 電話 7920 について \(P.1-1\)](#)
- [Cisco CallManager での IP 電話の設定 \(P.3-7\)](#)
- [Cisco 無線 IP 電話 7920 の設置 \(P.3-16\)](#)

Cisco CallManager での IP 電話の設定

Cisco IP Phone には、コールを処理する Cisco CallManager が必要です。電話機を管理し、コールのルーティングと処理を正しく行うように Cisco CallManager を適切に設定するには、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』または Cisco CallManager Administration アプリケーションの状況依存ヘルプを参照してください。

表 3-2 で、Cisco CallManager Administration を使用して行う設定アクティビティについて説明し、参考資料を示します。

表 3-2 Cisco CallManager の設定作業

アクティビティ	説明	その他の情報
Cisco CallManager データベースへの電話機の追加	1 台ずつ、またはバッチで電話機を追加できます。また、電話機を Cisco CallManager に自動的に登録できます。	P.3-8 の「Cisco CallManager データベースへの電話機の追加」を参照してください。
テレフォニー機能の設定と割り当て	Cisco CallManager Administration を使用して、テレフォニー機能を設定し、Cisco IP Phone に回線を割り当てる必要があります。	P.7-2 の「Cisco CallManager での Cisco 無線 IP 電話の設定」を参照してください。
ユーザの追加と関連付け	Cisco CallManager Administration で、ユーザをデータベースに追加し、特定の電話機に関連付けることができます。ユーザは、コール転送、短縮ダイヤルなどの電話オプションを設定する Web ページにアクセスできるようになります。	P.7-16 の「Cisco CallManager へのユーザの追加」を参照してください。

関連項目

- [Cisco CallManager での Cisco 無線 IP 電話の設定 \(P.7-2\)](#)
- [Cisco CallManager データベースへの電話機の追加 \(P.3-8\)](#)

Cisco CallManager データベースへの電話機の追加

Cisco 無線 IP 電話を設置する前に、電話機を Cisco CallManager データベースに登録する方法を選択する必要があります。一部の方法では、電話機のメディアアクセス制御 (MAC) アドレスの入力を必要とします。表 3-3 に、これらの方法の概要を示します。

表 3-3 Cisco CallManager データベースに電話機を追加する方法

方法	MAC アドレスが必要かどうか	注意事項
自動登録を使用	不要	電話番号は自動的に割り当てられる。
自動登録と Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用	不要	自動登録と BAT が必要。Cisco IP Phone と Cisco CallManager Administration の情報が更新される。
Bulk Administration Tool (BAT) を使用	必要	複数の電話機の同時登録が可能。
Cisco CallManager Administration のみを使用	必要	電話機を個別に追加する必要がある。

次の項では、この方法について説明します。

- [自動登録による電話機の追加 \(P.3-9\)](#)
- [自動登録と TAPS による電話機の追加 \(P.3-10\)](#)
- [BAT による電話機の追加 \(P.3-11\)](#)
- [Cisco CallManager Administration による電話機の追加 \(P.3-12\)](#)

自動登録による電話機の追加

最初に電話機から MAC アドレスを収集せずに、自動登録を使用することにより、Cisco CallManager データベースに電話機をすばやく追加できます。

自動登録が有効な場合、Cisco CallManager は自動起動プロセスを開始して電話番号を取得します。自動登録時に、Cisco CallManager は、Cisco CallManager に登録する新しい電話機に対して、次に使用可能な電話番号を自動的に割り当てます。

Cisco CallManager に電話機を登録した後は、Cisco CallManager Administration を使用して、電話番号などの任意の設定を修正できます。また、自動登録された電話機を新しい場所に移動して、電話番号を変更することなく別のデバイスプールに割り当てすることもできます。

Cisco CallManager のデフォルトでは、自動登録は無効になっています。Cisco IP Phone をネットワークに接続する前に、自動登録を有効にして正しく設定する必要があります。自動登録の有効化と設定については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

リリース 3.3(3)SR1 より前の自動登録の使用

3.3(3) SR1 より前にリリースされた Cisco CallManager 3.3 に自動登録を使用して Cisco 無線 IP 電話 7920 を登録する場合は、Cisco CallManager から電話機の設定ファイルを使用できるようにして、電話機を Cisco 7960 の電話タイプとして登録できるようにする必要があります。設定ファイルが使用できない場合、Cisco CallManager はその電話機を自動登録できません。

3.3(3) SR1 より前のリリースの Cisco CallManager で設定ファイルを有効にするには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 Cisco CallManager Administration アプリケーションにログインします。

ステップ 2 メニューバーから、**Service > Service Parameters** を選択します。

Service Parameters Configuration ページが表示されます。

- ステップ 3** Service ドロップダウン リスト ボックスで、**Cisco TFTP** を選択します。
- ステップ 4** **Advanced** ボタンをクリックします。
- ステップ 5** Clusterwide パラメータ (すべてのサーバに適用されるパラメータ) までページをスクロールし、**Enable Caching of Configuration Files** パラメータを **False** に設定します。
- ステップ 6** **Update** ボタンをクリックします。

関連項目

- [自動登録と TAPS による電話機の追加 \(P.3-10\)](#)
- [Cisco CallManager Administration による電話機の追加 \(P.3-12\)](#)
- [BAT による電話機の追加 \(P.3-11\)](#)

自動登録と TAPS による電話機の追加

自動登録と TAPS を使用して、電話機のグループをすばやく追加することができます。まず、Bulk Administration Tool (BAT) を使用して Cisco CallManager データベースにダミーの MAC アドレスで電話機を追加します。次に、TAPS を使用して MAC アドレスを更新し、事前定義された電話機の設定をダウンロードします。

TAPS を実装するには、管理者またはエンドユーザは、TAPS の電話番号をダイヤルして、音声プロンプトに従います。処理が完了すると、電話機にはその電話機の電話番号とその他の設定がダウンロードされています。また、Cisco CallManager Administration で電話機の MAC アドレスが正しく更新されます。

Cisco CallManager Administration の自動登録で TAPS が機能するようになっていることを確認する必要があります。

BAT と TAPS の詳細な手順については、『*Bulk Administration Tool User Guide for Cisco CallManager*』を参照してください。

関連項目

- [自動登録による電話機の追加 \(P.3-9\)](#)
- [Cisco CallManager Administration による電話機の追加 \(P.3-12\)](#)
- [BAT による電話機の追加 \(P.3-11\)](#)

BAT による電話機の追加

Cisco CallManager データベースに複数の電話機を同時に追加する必要がある場合は、BAT を使用します。この Cisco CallManager のプラグインアプリケーションを使用すると、複数の電話機に対するバッチ操作（登録など）を実行できます。

BAT のみ（TAPS と組み合わせない）を使用して電話機を追加するには、まず各電話機に対応する MAC アドレスを取得する必要があります。

Cisco IP Phone の MAC アドレスの決定

Cisco CallManager Administration または BAT を使用して Cisco CallManager データベースに電話機を追加する場合、電話機のメディア アクセス制御（MAC）アドレスを入力する必要があります。表 3-4 は、Cisco 無線 IP 電話の MAC アドレスの決定方法を示しています。

表 3-4 電話機の MAC アドレスの決定

Cisco IP Phone のモデル	方法	その他の情報
7920	Menu > Network Config > MAC Address を選択して、MAC Address フィールドを参照します。	第 5 章「ネットワーク プロファイル設定値の設定」を参照してください。
7920	バッテリーを取り外して、電話機の裏側を見ます。	P.3-20 の「電話機のバッテリーの取り付けと取り外し」を参照してください。

BAT の使用方法の詳細については、『*Cisco CallManager アドミニストレーションガイド*』および『*Bulk Administration Tool Guide for Cisco CallManager*』を参照してください。



(注)

BAT を使用して Cisco 無線 IP 電話を追加する場合は、電話ロードのデフォルト設定を使用してください。電話ロード名には記号 (-、_、.) が含まれますが、BAT ではエントリ内の記号は許可されません。

関連項目

- [Cisco 7920 電話タイプのサポート \(P.3-13\)](#)
- [自動登録による電話機の追加 \(P.3-9\)](#)
- [自動登録と TAPS による電話機の追加 \(P.3-10\)](#)
- [Cisco CallManager Administration による電話機の追加 \(P.3-12\)](#)

Cisco CallManager Administration による電話機の追加

Cisco CallManager Administration を使用して、電話機を個別に Cisco CallManager データベースに追加することができます。これには、まず各電話機の MAC アドレスを取得する必要があります。手順については、[P.3-8 の「Cisco CallManager データベースへの電話機の追加」](#)を参照してください。

MAC アドレスを収集したら、Cisco CallManager Administration で **Device > Add a New Device** を選択し、処理を開始します。

Cisco CallManager に関する詳細な手順と概念については、『*Cisco CallManager アドミニストレーションガイド*』および『*Cisco CallManager システムガイド*』を参照してください。

関連項目

- [Cisco 7920 電話タイプのサポート \(P.3-13\)](#)
- [自動登録による電話機の追加 \(P.3-9\)](#)
- [自動登録と TAPS による電話機の追加 \(P.3-10\)](#)
- [BAT による電話機の追加 \(P.3-11\)](#)

Cisco 7920 電話タイプのサポート

Cisco CallManager リリース 3.3(3) SR1 以降には、Cisco CallManager Administration アプリケーションの Cisco 7920 の電話タイプのサポートが含まれています (以前はこの電話機に対応する電話タイプがなかったため、Cisco IP Phone 7960 として構成しなければなりません)。

Cisco CallManager リリース 3.3(3) SR1 以降にアップグレードすると、無線電話を追加するときに Cisco 7920 の電話タイプを選択できます。ただし、アップグレードを実行しても、ネットワークでそれ以前に Cisco IP Phone 7960 として構成された Cisco 無線電話がある場合は、そのエントリを Cisco CallManager データベースから削除してから Cisco 7920 の電話タイプを割り当てる必要があります。詳細については、[P.3-13](#) の「[Cisco 7920 の電話タイプを使用した電話機の再登録](#)」を参照してください。

3.3(3) SR1 より前にリリースされた Cisco CallManager 3.3 に自動登録を使用して Cisco 無線 IP 電話 7920 を登録した場合は、Cisco CallManager から電話機の設定ファイルを使用できるようにして、電話機を Cisco 7920 の電話タイプとして登録できるようにする必要があります。詳細については、[P.3-9](#) の「[リリース 3.3\(3\)SR1 より前の自動登録の使用](#)」を参照してください。

Cisco 7920 の電話タイプを使用した電話機の再登録

Cisco CallManager バージョン 3.3(3) SR1 以降にアップグレードするときに、Cisco IP Phone 7960 として構成されていた Cisco 無線 IP 電話 7920 が存在する場合があります。このような場合は、その電話機を Cisco CallManager データベースから削除し、次のようにして Cisco 無線 IP 電話 7920 に Cisco 7920 の電話タイプを割り当てる必要があります。

このタスクを実行する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** Cisco CallManager Administration アプリケーションにログインします。
- ステップ 2** メニューバーから、**System > Cisco CallManager** を選択します。
Cisco CallManager Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 **Device > Phones** を選択します。

ステップ 4 Cisco 無線 IP 電話 7920 に一致するレコードを選択します。

ステップ 5 **Delete** をクリックしてレコードを削除します。

すべての Cisco 無線 IP 電話 7920 が Cisco CallManager データベースから削除されます。

ステップ 6 Cisco CallManager Configuration ウィンドウで、**Device > Add a New Device** を選択します。

Add a New Device ウィンドウが表示されます。

ステップ 7 Device Type ドロップダウン メニューから **Phone** を選択して、**Next** をクリックします。

Add a New Phone ウィンドウが表示されます。

ステップ 8 ドロップダウン メニューから Cisco 7920 の電話タイプを選択して、**Next** をクリックします。

Phone Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 9 Phone Configuration ウィンドウで、次のフィールドに情報を入力します。

- MAC Address
- Domain Name associated with this MAC Address

ステップ 10 **Insert** をクリックします。

Cisco CallManager Administration アプリケーションから、電話番号を割り当てるかどうかを尋ねられます。

ステップ 11 必要なフィールドに入力します。

**(注)**

リリース 3.3(3) SR1 より前のバージョンの Cisco CallManager を実行している場合は、Cisco CallManager Administration アプリケーションを使用して電話機を追加するときに、Cisco 無線 IP 電話 7920 に Cisco IP Phone 7960 の電話タイプを割り当てる必要があります。

関連項目

- [自動登録による電話機の追加 \(P.3-9\)](#)
- [自動登録と TAPS による電話機の追加 \(P.3-10\)](#)
- [Cisco CallManager Administration による電話機の追加 \(P.3-12\)](#)
- [BAT による電話機の追加 \(P.3-11\)](#)

Cisco 無線 IP 電話 7920 の設置

音声通信をサポートする無線ネットワークをセットアップし、Cisco CallManager の Cisco 無線 IP 電話を設定したら、電話機を設置できるようになります。この項では、次の設置に関する情報について取り上げます。

- [安全情報とパフォーマンス情報 \(P.3-16\)](#)
- [Cisco IP Phone への電源供給 \(P.3-20\)](#)
- [無線 IP 電話 7920 の電源投入 \(P.3-26\)](#)

安全情報とパフォーマンス情報

Cisco IP Phone を設置する前に、次の警告を確認してください。これらの警告の各国語版については、デバイスに付属の『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Wireless IP Phone 7920*』を参照してください。

**警告**

危険であることを意味します。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「*Translation Safety Warnings*」の番号を照らし合せてください。ステートメント 1071

**警告**

システムを電源に接続する前に、設置手順書を読んでください。ステートメント 1004

**警告**

この装置は、通常電源を使用して動作しているため、停電時には緊急時サービスにアクセスできません。緊急時サービスにアクセスできるように、代替手段を用意する必要があります。この装置のコール制限機能によって、緊急時サービスへのアクセスが影響を受けることがあります。

**警告**

高水準の爆発性ガスが存在する可能性があるエリアなど、危険な環境で Cisco 無線 IP 電話 7920 を使用しないでください。このような環境で無線デバイスを使用する前に、サイトの安全技術者と確認をしてください。

**警告**

充電器のプラグとソケットの結合部は、デバイスを切断する主要な場所になるので、常にアクセス可能な状態にしてください。ステートメント 1019

**警告**

充電器には、設置作業の一部として、短絡（過電流）保護が必要です。必ず、各国または地域の配線規定に従って設置してください。ステートメント 1045

**警告**

屋内の電源を使用してください。ステートメント 331

**警告**

この製品を廃棄処分する際は、各国の法律および規制に従って処理してください。ステートメント 1040

バッテリーの安全性に関する注意

このバッテリーの安全性に関する注意は、Cisco 無線 IP 電話 7920 のメーカーに承認されたバッテリーに適用されます。

**警告**

バッテリーの交換方法が正しくないと、爆発する危険性があります。必ず、メーカーが推奨する種類または同等の種類バッテリーと交換してください。使用済みのバッテリーは、メーカーの指示に従って廃棄してください。ステートメント 1015

**警告**

バッテリー パックを火または水の中に捨てないでください。火の中に投入すると、バッテリーが爆発することがあります。

**注意**

バッテリー パックは、このデバイスでのみ使用してください。

**注意**

バッテリー パックを分解したり、潰したり、穴を開けたり、燃やしたりしないでください。

**注意**

バッテリー パックの発火、焼け焦げ、損傷を防ぐために、バッテリーの接点が金属に触れないようにしてください。

**注意**

損傷したバッテリー、または液漏れしたバッテリーは、特に注意して扱ってください。電解液に触れた場合は、触れた場所を石けんと水で洗ってください。電解液が目に入った場合は、15 分間水で目を洗い、医師の診断を受けてください。

**注意**

周囲の気温が摂氏 40 度（華氏 104 度）を超える環境で、バッテリー パックに充電をしないでください。

**注意**

周囲の気温が摂氏 60 度（華氏 140 度）を超える環境にバッテリー パックを置かないでください。

**注意**

バッテリー パックを処分するときは、バッテリーの処分またはリサイクルに関する地域の規制について、地域の廃棄物処理業者に問い合わせてください。

交換用バッテリーを入手するには、地域の業者に問い合わせてください。必ず、シスコの部品番号が付いているバッテリーを使用してください。

標準バッテリー：CP-BATT-7920-STD

拡張バッテリー：CP-BATT-7920-EXT

**注意**

電話機に付属の、シスコの電源モジュールを使用してください。電源モジュールを交換する必要がある場合は、シスコの部品番号のリストを参照してください。

北米：CP-PWR-7920-NA

中央ヨーロッパ：CP-PWR-7920-CE

英国：CP-PWR-7920-UK

中国：CP-PWR-7920-CN

日本：CP-PWR-7920-JP

このマニュアルに記述されている警告の各国語版については、製品に付属の『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Wireless IP Phone 7920*』を参照してください。

関連項目

- [Cisco 無線 IP 電話 7920 の設置準備 \(P.3-2\)](#)
- [無線ネットワークとアクセス ポイントの設定 \(P.2-22\)](#)

Cisco IP Phone への電源供給

Cisco 無線 IP 電話 7920 は、電源にバッテリーを使用します。表 3-5 に、Cisco 無線 IP 電話に使用できるバッテリーの種類と、通話およびスタンバイの最大時間を示します。

表 3-5 Cisco 無線 IP 電話 7920 に使用できるバッテリー

種類	テクノロジー	キャパシティ	通話時間	スタンバイ時間
標準	リチウムイオン	1440/1560 mAh	3.5 時間	21 時間
拡張	リチウムイオン	1960 mAh	4.25 時間	30 時間



(注) 標準バッテリーのキャパシティーは、1440 mAh または 1560 mAh です。

次の項で、バッテリーに関する情報について説明します。

- 電話機のバッテリーの取り付けと取り外し (P.3-20)
- バッテリーの充電 (P.3-22)
- デスクトップ充電器の使用方法 (P.3-24)

電話機のバッテリーの取り付けと取り外し

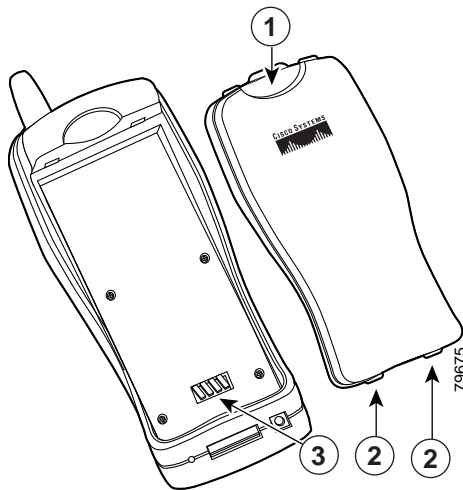
バッテリーを Cisco 無線 IP 電話に取り付ける手順は、次のとおりです。この手順の概要図については、図 3-1 を参照してください。

手順

- ステップ 1** バッテリーを取り付けるには、Cisco 無線 IP 電話 7920 の下部にある対応するスロットに、バッテリー キャッチ (図 3-1) を差し込みます。バッテリーと電話機の金属接点が触れ合っていることを確認します。
- ステップ 2** バッテリーを電話機の本体に押し込んで、固定します。

- ステップ 3** バッテリーを取り外すには、ロック キャッチを押して、バッテリーを持ち上げて取り外します。

図 3-1 Cisco 無線 IP 電話 7920 のバッテリーの取り付け



1	ロック キャッチ：バッテリーを取り外すときに押します。
2	バッテリー キャッチ：バッテリーを取り付ける電話機の下部のスロットに差し込みます。
3	金属接点：バッテリーの接点と電話機の接点を合せます。

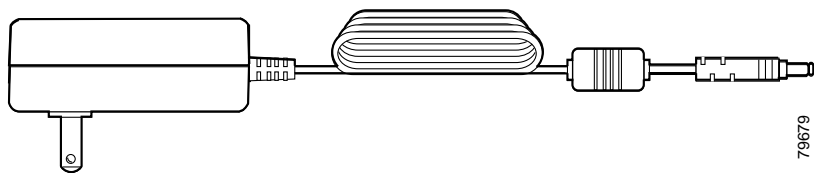


- (注)** 各 Cisco 無線 IP 電話 7920 のメディア アクセス制御 (MAC) アドレスが、電話機の背面のバッテリーの下にある印字されたラベルに表示されています。

バッテリーの充電

バッテリーをすばやく充電するには、[図 3-2](#) に示す AC アダプタを使用します。AC アダプタを壁面コンセントに差し込み、Cisco 無線 IP 電話 7920 の下部またはデスクトップ充電器の背面にコネクタを差し込みます。バッテリーの充電中でも電話機を使用できます。

図 3-2 電源モジュール



[表 3-6](#) に、2 種類のバッテリーの充電時間を示します。充電の状態は、電話機のディスプレイまたはデスクトップ充電器の前面で確認します。バッテリーが完全に充電されると、充電は終了します。バッテリーを充電器に長時間置いたままにしても、悪影響はありません。リチウムイオン バッテリーにはメモリがないため、不完全な充電によってバッテリー寿命が短くなることはありません。バッテリーは、4000 回まで再充電できます。

表 3-6 充電時間に関する情報

バッテリーの種類	電源モジュールを電話機に接続	電源モジュールをデスクトップ充電器に接続
標準	3.5 時間	6 時間
拡張	4.5 時間	8.5 時間

リチウムイオンバッテリーを充電する手順は、次のとおりです。

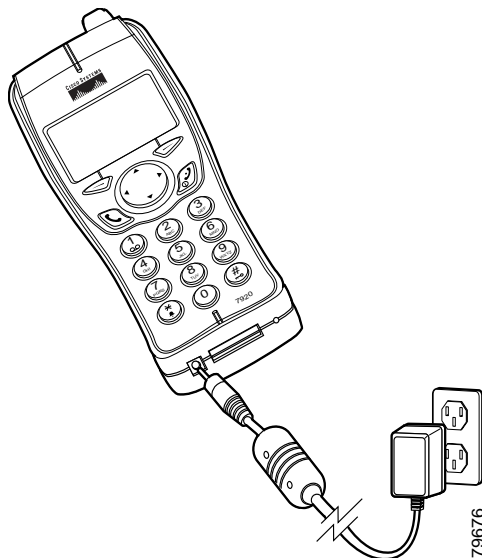
手順

ステップ 1 電源モジュールのケーブルを電話機の差し込み口に接続します。

ステップ 2 電源モジュールを壁面 AC コンセントに接続します (図 3-3)。

電話機の電源がオフの場合、画面に「Battery Charging」というメッセージが表示されます。バッテリーが充電されている場合は、「Battery Full」と表示されます。

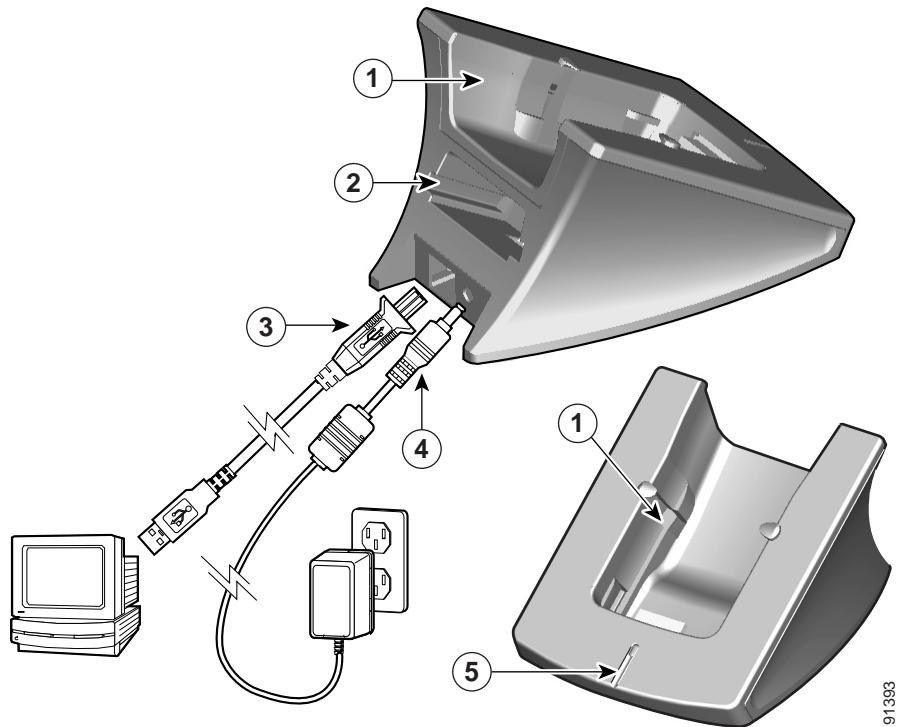
電話機の電源がオンの場合、現在の電力レベルを示すバッテリー インジケータバーが点滅します。バッテリーが充電されている場合は、インジケータバーは点滅せず、「Charging Complete」と表示されます。

ステップ 3 バッテリーが完全に充電されたら、電話機と充電器の接続を解除し、電源コードを壁面 AC コンセントから抜きます。**図 3-3 電話機のバッテリーの充電**

デスクトップ充電器の使用方法

デスクトップ充電器 (図 3-4) は、電話機に取り付けた電話用バッテリーと予備バッテリーの両方を同時に充電できます。

図 3-4 デスクトップ充電器



1	上部コンパートメント：電話機用	4	AC アダプタ：壁面コンセントに差し込みます。
2	下部コンパートメント：バッテリー用	5	LED インジケータ：バッテリーの充電状態を示します。
3	USB ケーブル (A-B タイプ)：Cisco 7920 設定ユーティリティを実行している PC に電話機を接続します。		



(注) デスクトップ充電器を使用して Cisco 7920 設定ユーティリティに電話機を簡単に接続でき、設定をインポートまたはエクスポートすることができます。標準 USB ケーブルでデスクトップ充電器をコンピュータに接続します (図 3-4 の下の表中の項目 3 を参照)。
Cisco 無線 IP 電話の USB ポートを有効にする必要があります。詳細については、P.4-6 の「電話機の USB ポートのアクティブ化」を参照してください。

デスクトップ充電器を使用するには、図 3-4 を参照して、次の手順に従います。

手順

- ステップ 1** AC アダプタを壁面コンセントに差し込み、コネクタ (4) をデスクトップ充電器の背面に挿入します。
- ステップ 2** Cisco 無線 IP 電話 7920 を充電器の上部コンパートメント (1) に挿入します。
- ステップ 3** 予備バッテリーを下部コンパートメント (2) に挿入します。



(注) バッテリーを取り付けた電話機だけを挿入して充電できます。予備バッテリーだけを挿入して充電することもできます。また、電話機と予備バッテリーの両方を同時に充電することもできます。

バッテリーの充電中は、LED インジケータ (5) が赤く点灯します。バッテリーの充電が完了すると、インジケータは緑色になります。完全に充電されると、バッテリーの充電は終了します。電話機またはバッテリーを長時間充電器に置いたままにしても、問題はありません。

表 3-7 に、バッテリー充電時間に関する情報を示します。充電の状態は、LED インジケータで確認します。バッテリーが完全に充電されると、充電は終了します。

表 3-7 バッテリー充電時間と充電の構成

バッテリー充電の構成	充電時間
バッテリーのみ	6 時間
電話機に取り付けたバッテリー	3.5 時間
電話機に取り付けたバッテリーと予備バッテリーの両方	6 時間

関連項目

- [無線 IP 電話 7920 の電源投入 \(P.3-26\)](#)
- [電話機のバッテリーの取り付けと取り外し \(P.3-20\)](#)
- [バッテリーの充電 \(P.3-22\)](#)

無線 IP 電話 7920 の電源投入

バッテリーの充電と Cisco 無線 IP 電話の設定が完了すると、電話機の電源を投入できます。電話機の起動については、次の項を参照してください。

- [電話機のアクティブ モードとスタンバイ モード \(P.3-28\)](#)
- [DHCP を使用しないネットワーク用の起動設定 \(P.3-29\)](#)

Cisco 無線 IP 電話 7920 の電源をオンにするには、次のステップが繰り返されて電話起動プロセスが開始するまで、Power On ボタンを押し続けます。



(注) Cisco Light Extensible Authentication Protocol (LEAP) 環境では、LEAP パスワードを設定しておく必要があります。

1. 電話機の画面に Cisco Systems, Inc., copyright 画面が表示されます。
2. 電話機が起動するときに、電話機の画面に次のメッセージが表示されます。
 - Authenticating with AP
 - Configuring IP network

- Downloading load ID
- Downloading config file
- Connecting to CallManager
- Registering to CallManager

3. 次の情報が、電話機のメイン画面に表示されます。

- 現在の時刻と日付
- プライマリ電話番号
- 起動メッセージ
- ソフトキー ラベル

この段階をエラーなしで終えた場合、電話機は正しく起動します。これで電話機はスタンバイモードになり、コールの送受信ができるようになります。

右上隅のシグナルアイコンは、無線アクセスポイントと電話機間の信号の強さを示します。コールを正しく送受信するには、適切な信号が必要です。シグナルアイコンの縦線が2本以下の場合、信号が弱いために、電話機のパフォーマンスに問題が生じることがあります。



(注)

弱い信号を受信すると、電話機に「Weak signal detected」というメッセージが表示され、Personal プロファイルで指定した警告音が送信されます。警告音の変更については、『Cisco 無線 IP 電話 792 電話ガイド』の「プロファイルの使用法と変更方法」の章を参照してください。

このステップが正常に完了しなかった場合は、P.9-2 の「起動と接続の問題の解決」を参照してください。

関連項目

- 電話機のアクティブモードとスタンバイモード (P.3-28)
- DHCP を使用しないネットワーク用の起動設定 (P.3-29)
- 電話起動プロセスについて (P.2-25)

電話機のアクティブモードとスタンバイモード

Cisco 無線 IP 電話 7920 の電源がオンのとき、次の2つのモードのいずれかになります。

- アクティブモード
- スタンバイモード

アクティブモード：電話機が次のいずれかの処理を実行しているとき、その電話機はアクティブモードになっています。

- アクティブコールへの接続
- チャンネルのスキャン
- CDP パケットの送信
- キープアライブメッセージの送信
- Cisco CallManager への登録

アクティブな RTP ストリームがある間、電話機はアクティブモードのまま、電力を消費します。標準バッテリーのアクティブモードでの通話時間は最大3時間で、拡張バッテリーの通話時間は最大4.25時間です。

スタンバイモード：電話機は、スキャンが完了した後、2秒でスタンバイモードになります。標準バッテリーのスタンバイ時間は最大21時間で、拡張バッテリーのスタンバイ時間は最大30時間です。

次のイベントに反応して、電話機はスタンバイモードからアクティブモードに移行します。

- キーパッドのアクティビティ
- ローミング
- 電話機の電源の入れ直し
- ネットワーク接続の切断
- RF 接続の切断
- スケジュールされた CDP またはキープアライブパケットの送信

関連項目

- [DHCP を使用しないネットワーク用の起動設定 \(P.3-29\)](#)
- [起動と接続の問題の解決 \(P.9-2\)](#)

DHCP を使用しないネットワーク用の起動設定

ネットワークで DHCP を使用しない場合は、次のネットワーク設定値を Cisco 無線 IP 電話 7920 で設定する必要があります。

- IP アドレス
- サブネット マスク
- プライマリ TFTP サーバの IP アドレス
- プライマリ ゲートウェイの IP アドレス
- プライマリ DNS サーバの IP アドレス (オプション)

この情報を収集し、第 5 章「ネットワーク プロファイル設定値の設定」で説明する手順に従います。

関連項目

- [電話起動プロセスについて \(P.2-25\)](#)
- [起動と接続の問題の解決 \(P.9-2\)](#)

